



2024年1月27日

P.UNITED イベント広報事務局

パラリンピック9競技団体/P.UNITED
日本モーターボート選手会×P.UNITED「Athlete CAMP 2024」
愛知県碧南市でパラスポーツ体験会が開催されました！

謹啓、貴社益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。また平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

昨日26日（金）から本日27日（土）までの2日間、愛知県碧南市の勤労青少年水上スポーツセンターにてパラスポーツ体験会が行われました。本イベントは、パラリンピック9競技団体が合同で活動をしていくプロジェクト「P.UNITED」と、その第一号スポンサーである日本モーターボート選手会によって、障がいの有無に関わらず体を動かすことの大切さを知って欲しい・共生社会へ向けて活動していきたいという想いを基に行われ、地元の小学生や地域の方々が5つの競技を体験しました。沢山の方が、普段目にする事のないパラカヌーやパラ射撃などの競技を体験したり、日本モーターボート選手会によるモーターボートのデモンストレーションを観覧したりと、各競技の選手たちと共に笑顔と学びの絶えないイベントとなりました。

また、パラアスリートやボートレーサーたち自身も、スポーツ心理学の専門家や共生社会やデジタルマーケティングに知見の深い講師の研修会に参加したり、他競技の体験やモーターボートの試乗体験をしたりと、それぞれの競技力向上と、今後共生社会を生きていく上で必要な発見や学びを得る事ができ、大変貴重な機会となりました。

P.UNITED とは、競技認知の低さやアスリートの練習環境・財政面など、パラスポーツ競技団体もつ共通の課題に対して、また「健常者と障がい者がごく当たり前に共に過ごせる社会作りをしたい」という共通の目的に対して、競技団体としての基盤強化が必要だという切実な思いから立ち上がったプロジェクトです。パラリンピック開催となる本年も引きつづき、体験会などのイベントを日本各地で実施し、9競技団体でのマーケティング活動や競技力や認知向上の為に活動していく予定です。

今回の体験会に参加した選手のコメントをご紹介しますので、是非とも掲載のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

■参加選手コメント：

【パラカヌー 加藤 隆典選手（愛知県碧南市出身）】

皆さん積極的に楽しんでくれた。頻繁にある機会ではないので、選手にとっても体験会の参加者にとっても良い機会となったと感じる。パラカヌーは、水上で行うので中々触れ合う機会がないので、今回は沢山の方に知ってもらったので良かったと思う。

【パラ馬術 稲葉 将選手（神奈川県横浜市出身）】

今回自分は、他競技を体験する側として参加した。それぞれの競技の面白さや奥深さを感じたり、イメージと違う部分もあった。初心に返れるところもあったので、今後の競技生活を考える上でも良い経験ができたと思う。

■イベント概要：

<日程> 2024年1月26日（金）、1月27日（土）

<会場> 勤労青少年水上スポーツセンター（愛知県碧南市湖西町5丁目59番地）

<参加者> パラ9競技団体の選手12名、現役ボートレーサー、地元の小学生や地域の一般参加者

■主催： 特定非営利活動法人日本パラ射撃連盟（パラスポーツ9競技団体合同プロジェクトP.UNITED 代表団体）

■後援： 碧南市、碧南市教育委員会

《本イベント取材に関するお問合せ》

P.UNITED イベント広報事務局（株式会社ユース・プランニングセンター内）

担当：粟林（アバヤシ） Email：punited-event@mediaoffice.co.jp

《P.UNITEDに関するお問合せ》

info@punited.org <P.UNITED 広報担当 <河野/吉田>



■ 本イベントの画像や P.UNITED のロゴをご希望の方は、広報事務局までお問合せください。

※クレジットは ©P.UNITED

《本イベント取材に関するお問合せ》

P.UNITED イベント広報事務局（株式会社ユース・プランニングセンター内）

担当：粟林（アハバヤ） Email：punited-event@mediaoffice.co.jp

《P.UNITED に関するお問合せ》

info@punited.org <P.UNITED 広報担当 <河野/吉田>

■ P.UNITED について

東京でのパラリンピック開催でパラスポーツ競技団体間の連携が深まったことを契機に、2023年6月に9つのパラスポーツ競技団体が合同で活動を行っていくプロジェクト「P.UNITED」を立ち上げました。

競技力の強化や競技の認知向上、競技人口の確保など、個々の団体としての活動を行ってきた9団体ですが、パラスポーツや障がい者に対する理解を高め、「健常者と障がい者がごく当たり前に共に過ごせる社会作り」というパラスポーツ競技団体共通の目的に対し、パラスポーツ競技団体として更なる基盤強化が必要ではないか、という共通した課題の気づきから合同でのプロジェクトワークに可能性を感じ、ジョイントマーケティングを重点的に行うP.UNITEDとしての活動が始まりました。

競技認知の向上、競技人口の増加、アスリートの練習環境、財政面など、パラスポーツ団体が直面するそれぞれの課題に対して、団体ごとの経験や知恵を共有することで、より大きな課題に取り組み、パラスポーツ全体や社会への貢献を目指し、具体性を持って共生社会を実践していきます。

P.UNITEDを構成する9団体は下記の通りです。

一般社団法人日本車いすカーリング協会、一般社団法人障害者カヌー協会、一般社団法人日本障がい者乗馬協会、
特定非営利活動法人日本パラ射撃連盟、一般社団法人日本身体障害者アーチェリー連盟、
一般社団法人日本知的障害者水泳連盟、一般社団法人日本知的障がい者卓球連盟、
特定非営利活動法人日本パラ・パワーリフティング連盟、一般社団法人日本パラフェンシング協会

< 9団体での活動方針 >

- ① 楽しみを通じて知っていく。社会を変えていく推進力としてのパラスポーツの力を信じる。
- ② 共に試行錯誤する。パラスポーツ同士、さらには企業との連携など新しい取り組みに挑戦。
- ③ D&I、Well-Being、といった、社会や企業の今日的課題にも9団体らしい多様なアプローチを検討。

< スローガン >

「これからって時が、いちばん面白い」

< プロジェクト名とロゴマークに込めた思いについて >

プロジェクト名“P.UNITED” について

社会を変えていくPositiveな存在、時にそれを推進するPowerとなるなど、頭文字の“P”には様々な意味と解釈を込めています。パラスポーツの新しい取り組みとして、未来に前向きな影響を与えたいという私たちの想いを表しました。

ロゴマークについて

私たちパラリンピック9団体も力や知恵、経験をあわせていくことで、ひとつのシンボルとなっていききたい。そんな私たちの想いを、東京2020大会のエンブレムデザイナーである美術家、野老朝雄氏が形にしてくださいました。個と群のコンセプトから生まれたデザインとなっています。

